

**マルチスズキより品質賞を2年連続で受賞 -インドKSS-Abhishek社
安全制御部門**

2010年5月19日香港 -

キー・セイフティ・システムズ株式会社 (KSS) と、世界の自動車業界で最新の安全制御部品を開発・生産しているアビシエック自動車工業株式会社 (AAIL) のジョイントベンチャー会社である、KSS-アビシエックセイフティシステムズ (KSSA) は、本日「2009年-2010年度マルチスズキサプライヤーパフォーマンス賞」を受賞したと発表。この賞は、5月3日香港で開催されたサプライヤー会議で授与され、KSSAとしては2年連続の受賞となった。

KSSAの社長、兼事業本部長のトニー・ジェインは、“今回の受賞は、KSS-アビシエック社にとって大変光栄な事であり、この事は私共が常日頃ワールドクラスの品質と技術に基づく安全制御製品を提供し続けると言う姿勢を反映しています。又、この賞はKSS、AAIL両社の良好な関係と、絶え間なく投資を続けると言う前向きな姿勢無くしては産み得なかった物と考えます。これからも私共はスズキ自動車様とのお取引の機会を将来に向け頂ける事は大変光栄の極みであります。”と述べた。

今回のサプライヤー会議のテーマの“100万台を超えて”は、インドの最大の自動車メーカーであるマルチスズキの拡大戦略の為、サプライヤーの生産キャパが倍となるように事前準備を行うよう示唆する意味でこのテーマになったとの事。2009年マルチスズキの生産台数は100万台に達成している。

KSSとは

キー・セイフティ・システムズ (KSS) は、インフレーター、エアバック、ステアリングホイール、及びシートベルトなどの自動車用安全重保部品の設計、開発、生産をグローバルリーダーとして世界中で展開。米国ミシガン州スターリングハイツに本社を置き、世界中で60以上の顧客と、300モデル以上の自動車用に製品を供給、世界35箇所からなる販売拠点、技術研究所、製造工場からは年間約900億円の販売実績が有り。テクニカルセンターは、米国、ドイツ、日本、中国と4期拠点に有り。

KSSAとは

KSS-Abhishek社は、2007年にインフレーター、エアバック、シートベルト、ステアリングホイール等の安全重要保安部品の供給を目的に設立されたKSSと、アビシエック自動車工業株式会社 (AAIL) の50%-50%出資の合弁会社である。インドのハリアナ県マネザーに、14万㎡の近代的な製造工場とテクニカルセンターを持ち、デトロイト、フランクフルト、東京、及び上海にあるKSSの世界中のテクニカルセンターと緊密な関係を保ち、グローバルにプログラムの展開を行っている。